

忘れていませんか？

「福島の今、6年目の現実」

原発事故により、住み慣れた家に帰れない人々。
帰っても生活の安定が保証されない不安、ストレス、
そして自殺者の増加…

町には福島を訪れる度に山積みされていく除染袋。

私たちは今一度立ち止まり現実を知り、一人ひとりが
福島の方々と強くつながりたいと願っています。

スケジュール

- 11:30 バザー
喫茶コーナー
- 12:45 終了
- 13:00 福島家族支援
実行委員会
「活動報告」
- 13:20 講演会
- 15:00 質疑応答
- 15:30 終了

講演は自由献金です。
ご協力をお願いいたします。

皆様からの献金は全て
福島支援活動に活用させて
頂きます。

問い合わせ
福島家族支援実行委員会
08083927394 担当・目良

駐車場がございませんので、
公共交通機関でお越し下さい。

日時 3月18日 13時

場所 カトリック大名町教会 講堂

講演会 「皆の家を守るために」

講師 シスター畠中 千秋(聖心会)
カリタス南相馬 ベース長

1995年 阪神淡路大震災を兵庫県宝塚で体験

2011年 東日本大震災を東京で体験

シスターズリレーの一環で
米川ベースの活動に参加

2012年 CTVC カリタス原町ベースの創設に
関わる

2016年

12月17日 カリタス南相馬と改名。
新築移転して活動を継続、
現在に至る



主催 福岡教区震災被災者支援室内
福島家族支援実行委員会「博多にきんしゃ〜い」

協賛 福岡地区信徒使徒職協議会

福岡教区の皆様

2017年2月1日

福岡教区災害支援室内福島家族支援実行委員会

代表 目良 信子

担当司祭 森山 信三

講演会のお知らせ

寒い日が続きますが、皆様 神様の恵みの内にご健勝のことと存じます。

昨年2016年は信じられない熊本地震の大きさ、被害の大きさに驚愕し被害を受けられた方々のために祈り、多くの方々の善意を目にし神様のお計らいを信じました。私達も被災地の子供達と小さな「祈り」で繋がることができました。

そのような状況の中 福島家族支援実行委員会では、昨年11月福島を訪問し東日本大震災後5年9カ月たった現地の状況を見、檜葉町で活動されている聖母訪問会、子ども達のために活動されている南相馬・子どものつばさ、同慶寺(相馬藩菩提寺)、カリタス原町ベース、サロンで活動されている方々にお会いしお話を伺うことができました。

福島については、地震津波のほかに原発事故における放射能の問題は切実で、他地区とはまったく違った色々な課題が山積していることを実感します。廃炉措置、福島を訪れる度に高く山積されていく除染袋、自分の家に帰れない人、帰っても生活の安定が保証されない不安、ストレス、自殺者の増加等と複雑です。

わたし達はもう一度立ち止まりこのような現実を知り一人一人が福島の方々と少しでも「祈り」で繋がればと思い、今回下記のように講演会を計画いたしました。

皆様のご参加をお待ちしています。

記

日時：3月18日 (土)

場所：大名町教会1階講堂

11:30～ バザー・喫茶

13:00～13:20 活動報告

13:20～15:00 講演

講師 シスター畠中ちあき(聖心会)

カリタス南相馬 施設長(旧CTVCカリタス原町ベース)

テーマ 「皆の家を守るために」

15:00～15:30 バザー・コーヒーサービス